

2013年度大学入試センター試験 解説〈地理 B〉

第1問 世界の自然環境

問1 正解は②

- ② 正しい。地軸の傾きによって気圧帯は季節により南北に移動する。例えば、赤道からやや離れた緯度10度付近では、高日季（太陽高度の高い時期＝夏）には赤道低圧帯に覆われて雨季に、低日季には中緯度高圧帯の支配下に入り乾季となる。
- ① 誤り。赤道付近は上昇気流が生じており、赤道低圧帯となっている。
- ③ 誤り。北緯30度付近から高緯度側へ向かう大気の流れは、極東風ではなく偏西風である。なお、極東風は極付近から吹き出す。
- ④ 誤り。北緯30度付近の中緯度高圧帯では下降気流が卓越し、雲が生じないため乾燥気候となる。

問2 正解は②

- ② 誤り。南アジアの北緯20度までの範囲は、主にサバナ気候が分布している。季節風の影響で降水量の多い気候である。したがって、砂漠土・無植生地域はみられない。なお、南アジアには大インド(タール)砂漠があるが、北緯20度より北に広がっている。
- ① 正しい。サハラ砂漠南縁のサヘルでは、ステップ地域の砂漠化が問題となっている。
- ③ 正しい。熱帯に分布する赤土をラトソルという。
- ④ 正しい。ベネズエラのオリノコ川流域はサバナ地域で、熱帯草原をリャノと呼ぶ。

問3 正解は③

- ア 冬の寒さが厳しい冷帯（亜寒帯）で、特に気温の年較差が大きい大陸性の特徴を示しているので、B（シカゴ）のグラフである。
- イ 冬も温和な温帯（地中海性気候）で、大陸西岸の特徴が顕著なので、A（サンフランシスコ）のグラフである。大陸西岸では海洋から吹く偏西風の影響を受け、気温の年較差が小さい。
- ウ 温帯ではあるが、夏は高温となる日本と同じ温暖湿润気候の特徴を示しているので、C（ワシントン）のグラフである。大陸西岸と比べ、大陸東岸は気温の年較差が大きい。

問4 正解は④

- ④ 大西洋とカリブ海を区切る M (小アンティル諸島) は、カリブプレートの下に南アメリカプレートが沈み込むせまら境界に沿って形成された島弧 (弧状列島) である。
- ① 環礁は、暖かい海に発達するサンゴ礁地形の一種で、K (ツバル) など南太平洋に多い。
- ② プレートが広がる境界である海嶺の一部が海上に現れた J (アイスランド) には、地溝帯が通る。
- ③ L (メキシコ湾岸油田地帯) は、褶曲を受けた地層の背斜構造に石油が貯留して形成された。

問5 正解は④

- カ 氷河地形であるフィヨルドについて説明した文章である。3 地点で最も緯度の高い R のチリ南部沿岸にはフィヨルドがみられる。
- キ エスチュアリー (三角江) について説明している。ラッパ状に開いた入り江となっている S のラプラタ川河口は、エスチュアリー の典型例として知られる。
- ク 堆積地形であるデルタ (三角州) について説明した文章である。Q は、タイのチャオプラヤ川下流のデルタ地帯を示しており、水稲耕作の盛んな地域となっている。

問6 正解は②

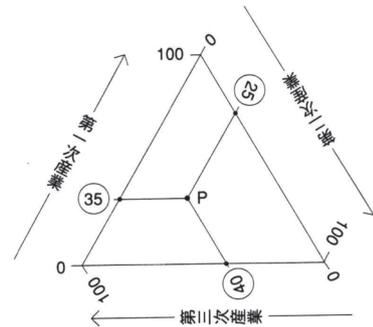
- a 正しい。X (イラン～アフガニスタン) の乾燥した地域では、自由地下水を導く地下水路 (イランではカナート、アフガニスタンではカレーズ) を用いた灌漑によって、小麦などを栽培するオアシス農業が営まれている。
- b 誤り。Y のオーストラリアの大鑽井 (グレートアーテジアン) 盆地では、掘り抜き井戸で自噴する被圧地下水を利用した牧羊 (北部では牧牛) がおこなわれるが、地下水に塩分を含むため、耕種農業には適さない。

第2問 産業構造の変化と産業の立地

問1 7 正解は⑤

三角図表の読み取りは右図の例のようにおこなう。

アメリカ合衆国を示すのは C である。経営規模の大きな粗放的農牧業がおこなわれており、以前から第1次産業就業者比率が低い。また、金融業のウエイトが高まり、経済のサービス化が進行し、第3次産業就業者比率が高まっている。



中国を示すのは A である。近年の急速な経済成長により、中国の産業構造は大きく変化しているが、日本・アメリカ合衆国の両国と比較すると、今も第1次産業への依存度は大きい。

日本を示すのは B である。高度経済成長後も農林水産業の衰退は続く一方、アメリカ合衆国同様に、製造業から金融・サービス業へと、産業構造の高度化の傾向がみられる。

問2 8 正解は②

②がスイスに該当する。大国に囲まれたスイスは、早くから国家の存立を維持するためのさまざまな取り組みを行っており、政治面では永世中立宣言と国民皆兵制により他国の干渉を避け、経済面では金融業の発達により世界の資本を集めることで独自の地位を確立した。

①はデンマークに該当する。高福祉国家であり、教育・保健衛生・社会事業・公務などの社会関連サービスの割合が高い。

③はアラブ首長国連邦に該当する。石油収入の投資によって建設されたドバイは世界有数の観光都市であり、宿泊などの消費関連サービスが発達している。

④はフィリピンに該当する。発展途上国では第3次産業就業者割合が比較的低くなる。

問3 9 正解は⑥

工作機械生産額を示すのはウ。工作機械は、一般機械に比べ高い技術力を要するため、科学技術が発達し、ハイテク産業が盛んな日本やドイツの割合が高い。

パルプ生産量を示すのはイ。森林資源が豊富で消費地に近い北アメリカ諸国や北ヨーロッパ諸国の割合が高い。

綿織物生産量を示すのはア。繊維製品などの軽工業品は、多くの労働力を必要とするため（労働集約的）、豊富な低賃金労働力を持つ中国やインドの割合が高い。

問4 10 正解は②

- ②は韓国を示す。製造業分野を中心とした技術開発への投資により、世界有数の工業国に成長した。ただし、本問は以下のように考えやすい国から判別していった方がよいだろう。
- ③はアメリカ合衆国を示す。研究開発費の絶対額は大きいにもかかわらず、GDP 比はやや低いので、GDP の大きい国であり、特許権数から科学技術分野でも突出した国であるとわかる。
- ④はメキシコを示す。4 か国中、発展途上国は同国だけであり、研究開発や科学技術の水準が低くなる。
- ①・②の判定でやや迷うが、①がフィンランドである。世界最大級の携帯電話メーカーであるノキア社を有する工業国で、1人当たり GDP では韓国の約2倍だが、人口規模が約10分の1（韓国約5千万人、フィンランド約5百万人）に過ぎず、研究開発費の絶対額・特許件数では②の韓国を下回る。

問5 11 正解は⑤

出版・印刷業を示すのはク。出版・印刷業は情報が集中し、需要量も大きい大都市圏に集積する。特に首都東京の地位が高く、この傾向はあまり変化していない。

食料品製造業を示すのはカ。原料となる農畜産品・水産品の生産は地方圏でも盛んで、製品の需要も全国に分散している。この傾向にも大きな変化はない。

電気機械器具製造業を示すのはキ。付加価値の高い産業であり、輸送コストの割合が小さいので、高速道路などの交通機関の発達にともなって、都市部から周辺地域へと立地が分散した。

問6 12 正解は①

情報通信業に該当するのは①。設備投資によって生産性が高まる産業であり、成長のためにそれほど多くの労働力を必要としない。また知識集約的産業であるため、大都市圏へ立地が集中する。よって、全従業者に占める割合が低く、県庁所在都市集中度の高いグラフを選ぶ。

卸売・小売業に該当するのは③。人々の消費生活を支える商業は、どの地域にも一定の割合で存在する普遍的な産業である。よって、従業者割合は高く、県庁所在都市集中度は低い。

製造業に該当するのは④。工業立地は、原料・労働力などの条件に左右されるため、いわゆる工業地域を形成する。そのため従業者割合は都道府県ごとの差が大きく、県庁所在都市集中度は低い。

農林漁業に該当するのは②。日本の第1次産業は衰退傾向にあり、従業者割合は低い。また、農林漁業従業者のほとんどは農林漁村に居住するので県庁所在都市集中度は極めて低い。

第3問 都市と村落, 生活文化

問1 13 正解は②

シドニーに該当するのは②である。オーストラリアは移民の国であり、白豪主義廃止後はアジア系も含めて外国人居住者の割合は比較的高い。また、英語圏であり、治安も安定しているため、日本を含めたアジア太平洋諸国の留学生にとって人気の留学先である。コペンハーゲンに該当するのは①である。デンマークはドイツ同様に多くのトルコ系移民労働者を受け入れている。また、ヨーロッパ諸国は、アジア諸国に比べて年間労働時間が短い。ホンコンに該当するのは③である。国際的な貿易都市であり、中国語とともに英語を公用語としているため、約 55 万人の外国人が居住している。したがって、ソウルに該当するのは④であるが、すべてを判定するのはやや難しいだろう。

問2 14 正解は①

東京に該当するのは①である。東京は、世界都市として特に経済面において先進的な地位を占めている。しかし、欧米先進地域から距離的に遠いことは国際会議の誘致において不利な条件となっている。

ニューヨークに該当するのは③。摩天楼と呼ばれるマンハッタンの高層建築街は有名である。

パリに該当するのは②。国際機関の本部が多く、国際会議の開催が集中している。

ロンドンに該当するのは④。②と④を判定するのはやや難しい。

問3 15 正解は④

④ 誤り。下線部は**円村**の説明である。円村も林地村も中世のドイツやポーランドにおける開拓集落だが、集落の形態が異なる。**林地村**は、谷筋の道路沿いに家屋が列状に立ち並ぶ集落で、耕地や森林がその後背に短冊状にのびている。

① 正しい。**散村**とは家屋が分散している集落である。庄川が形成した緩やかな扇状地である砺波平野（富山県）や、斐伊川下流の出雲平野（島根県）の散村はその典型例として有名である。

② 正しい。**タウンシップ制**とは、アメリカ合衆国で 18 世紀後半から 19 世紀前半に実施された公有地の分割制度で、中西部の入植者に農地を与えて開拓を進めた仕組みである。

③ 正しい。**丘上集落**とは、主に中世までの地中海沿岸地方にみられた形態で、外敵からの防御や風土病を避けるため、丘の上に立地している。一部では古い景観が保存され、観光地となっている。

問4 16 正解は④

メキシコシティの不良住宅地に該当するのは④である。職を求めて農村部から流入したものの定職に就けない貧困層は、都市周辺の住環境が劣悪な地域（低湿地や斜面）にスラムを形成して居住する。高級住宅地に該当するのは①。中心業務地区に近接した利便性の高い限られた地域に集中する。以下、条件が悪くなるにつれ、中級住宅街は②、低級住宅地は③が該当する。正答はすぐに選べるが、4つとも判定しようとする時間がかかるだろう。なお、メキシコシティの階層別住宅地の分布については、2011 年度本試験でも選択肢で扱われている。

問5 17 正解は③

ブラジルに該当するのは③である。以下の順で判定していくと考えやすい。

日刊新聞の発行部数は大きい、減少傾向にある①と②は先進国（アメリカ合衆国・日本）を示す。一般家庭でも新聞の購読が可能だが、インターネットの発達などメディアの多様化が進み、伝統的なマスメディアである新聞の地位は低下しつつある。したがって、③と④のいずれかがブラジルであるが、国土面積や人口規模を考慮すると、③がブラジル、④がマレーシアと判定する。国土が広大な場合、地方ごとに数多くの地方紙が発行される。同様の理由で、①・②のうち、アメリカ合衆国は②、日本は①と判断できる。

問6 18 正解は①

ボリビアに該当するのは①。ボリビアの位置するアンデス山脈の高山地帯では、気温の年較差は小さいが、日較差は大きい。そのため、寒暑に合わせて着脱の容易なポンチヨと呼ばれる貫頭衣が用いられる。

- ② イランに該当する。「宗教的な理由」とはイスラム教の戒律を指す。イスラム圏の女性は外出時、チャドルと呼ばれる装束を身につける。
- ③ ベトナムに該当する。「近隣国」とは中国である。ベトナムの女性民族衣装であるアオザイは、チャイナドレスが起源となっている。ベトナム文化は、漢字文化圏に含まれる。
- ④ モンゴルに該当する。デールと呼ばれる民族衣装の説明である。

第4問 地中海地域

問1 19 正解は①

- ① 誤り。貿易風とは、中緯度高圧帯から低緯度方向に吹き出す風である。
- ② 正しい。地中海にも反時計回りに環流する海流が存在する。
- ③ 正しい。地中海地方に伝統的にみられる白壁建築は、写真問題で頻出である。
- ④ 正しい。テラロッサは石灰岩が風化した赤色の間帯土壌で、オリーブの栽培に適している。

問2 20 正解は③

ラバトに該当するのはウである。ラバトは大西洋に面する位置にあり、海洋性の特徴が顕著で、気温の年較差は最も小さい。夏は中緯度高圧帯に覆われ乾燥するが、冬には寒帯前線から吹き付ける北東風がアトラス山脈にぶつかり、上昇気流となって降雨をもたらす。アはマドリード。4地点で最も内陸に位置するため、気温の年較差が大きく、降水量はやや少ない。イはローマ、エはカイロである。最も低緯度で乾燥帯（砂漠気候）に位置するカイロは、年平均気温が最も高く、降水量はほぼゼロに近い。

問3 21 正解は②

カ 柑橘類である。夏の高温・乾燥を好むため、地中海地方での生産が盛んである。特に、シチリア島（イタリア）のレモンや、バレンシア（スペイン）のオレンジは有名である。
 キ ワタ（綿花）である。凶域での分布が少ないので、消去法的に判断する。生育期に高温が必要である。年降水量約 1000～1500mm が必要だが、ナイル川デルタのように、乾燥地域では灌漑農業によって栽培される。
 ク ブドウである。南ヨーロッパを中心に広い地域で栽培されている。イタリア・スペイン・フランスの生産量が多い。ヨーロッパでの栽培北限はドイツ南部付近である。

問4 22 正解は③

サは B に該当する。アルジェリアやリビアなどの北アフリカ諸国は、主要な産油地域である。アルジェリア内陸の油田から沿岸部まで、パイプラインが敷設されている。
 シは A に該当する。トゥールーズにはヨーロッパ諸国が共同出資するエアバス社の航空機製造工場があり、各国で作られた部品を組み立てている。
 スは C に該当する。イタリアのフィレンツェからヴェネツィア・ボローニャにかけての地域は、職人や中小企業が技術を継承している皮革、製靴、陶器、繊維などの伝統工業によって、独自の繁栄をみせており、第3のイタリアと呼ばれる。

問5 23 正解は②

イタリアが該当するのはX。イタリアやスペインは、フランスと並んでヨーロッパでも特に観光客受け入れ数の多い観光大国である。北ヨーロッパからのバカンス客が多い地中海沿岸のリゾート地の他、多くの歴史地区を有し、世界中から観光客を集めている。

ギリシャが該当するのはY。ギリシャやエジプトも、歴史遺産を中心に多くの観光地を持つ国だが、イタリアやスペインと比べて国の経済規模が小さいため、観光収入の輸出額に占める割合が高く、それぞれの国の重要な外貨獲得源となっている。

なお、それぞれ観光客受け入れ数の多い方が、スペイン、ギリシャである。

問6 24 正解は②

② 誤り。トルコはイスラム教国であるため、戒律によってハラーム（禁忌）とされる豚肉は食べない（豚は不浄な動物とされる）。ケバブは、一般に羊・牛・鶏肉を材料とする。

① 正しい。スペインでも米の生産はみられる（生産量は日本の10分の1程度）。

③ 正しい。ブイヤベースは、地中海沿岸のマルセイユ発祥とされる海鮮スープである。

④ 正しい。クスクスは、モロッコを含む北アフリカ周辺で広く食される料理である。

本問は、料理に関する知識を問うているわけではない。宗教と生活の関わりがポイントである。

第5問 現代世界における人口および民族の諸問題

問1 25 正解は④

④ 東アジアに該当する。先進国である日本・韓国だけでなく、一人っ子政策を推進した中国でも合計特殊出生率が低くなっている。

① アフリカに該当する。多くが貧困な農村社会で、女性の地位が低く、合計特殊出生率が極めて高い。一方で、医療の遅れなどから平均寿命が短く、老年人口比率が著しく低い。

② 中央・南アメリカに該当する。発展途上国地域であり、アフリカ(①)や西アジアに次いで合計特殊出生率が高く、老年人口比率が低い。

③ 北アメリカに該当する。先進国地域であるため、少子高齢化が進行している。ただし、ラテンアメリカなどからの若い移民が多く、合計特殊出生率はやや高めである。

問2 26 正解は⑤

- ア インドに該当する。貧困な農村地帯では、栄養不足や医療の未整備によって乳幼児の死亡率が高い。
- イ サウジアラビアに該当する。潤沢な石油収入を背景に、経済レベルは先進国並みで、発育不良率は低位であるが、イスラム教の影響で男女間の生活習慣に差異がみられる。
- ウ アメリカ合衆国に該当する。先進国であり、発育不良率は極めて低い。また、男女同権が進んでおり、喫煙などの生活習慣における男女の差異は小さい。

問3 27 正解は②

- ② 誤り。インドでは、1970年代に（男性に不妊手術を強制する）断種政策をおこなったが、激しい国民の反発を招き、失敗した。その後、インドでは緩やかな家族計画政策がおこなわれている。したがって、過去の人口抑制策は、「失敗」であって「欠如」ではない。
- ① 正しい。日本もアメリカ合衆国の農産物輸出先の一つである。
- ③ 正しい。サハラ以南のアフリカでは、今も民族紛争や内戦によって耕地が荒廃している国が多い。
- ④ 正しい。人口の高齢化にともなう社会保障費の負担増は、ドイツに限らず日本など先進諸国の共通の課題となっている。

問4 28 正解は③

クルド人の住む地域であるクルディスタンは、イラン・イラク・トルコ・シリアなどにまたがっており、クルド人はそれぞれの国で少数民族として弾圧や迫害を受けてきた。そのため、民族自治権の拡大や、分離独立を求める運動を展開している。

- ① 例えば植民地時代、民族分布を無視してヨーロッパ諸国によって国境線を引かれたアフリカ諸国の民族紛争は、このパターンが多い。
- ② 例えばミャンマーでは、カレン人など複数の少数民族が政府の弾圧に対抗し、連帯を進めている。
- ④ 例えば朝鮮半島（韓国と北朝鮮）のケースは、このパターンに該当する。

問5 29 正解は④

- ④ 誤り。マオリ人の言語であるマオリ語は、ニュージーランドの公用語とされているが、オーストラリアのアボリジニ、カナダのイヌイトには該当しない。
- ① 正しい。オーストラリア、カナダ、ニュージーランドはいずれもかつてはイギリスの植民地であった。
- ②・③ 正しい。多文化主義の下で、このような先住民のアイデンティティや権利を保障する方向に進んでいる。

第6問 地域調査（徳島県鳴門市）

問1 30 正解は③

地形図は上が「北」である。図域 X の西部から北東部にかけては、山地がのびている。その北側は海域、南側は平野である。落ち着いて図を見れば易しい問題である。

問2 31 正解は⑤

会津若松市に該当するのはウのグラフである。3 都市中、最も北にあり日照時間が短い。
徳島市に該当するのはアのグラフである。設問文中にあるように、鳴門市は天日乾燥による製塩が盛んであったが、伝統的な製塩業は晴天の多い気候が立地条件となる。この点、瀬戸内地方に近い徳島県東部は、年間を通じて晴天が多く、降水量が少ない。これは、冬の北西季節風が中国山地、夏の南東季節風が四国山地に遮られ、降水量が少なくなることを反映している。

宮古島市に該当するのはイのグラフである。南西諸島は、平年では6月上旬に梅雨明けするので、6～7月の日照時間が他の2都市より長い。

問3 32 正解は①

- ① 誤り。旧図の西部に水田の地図記号 II がみられるが、新図では同じ位置に整然と建築物が並んでおり、造成による新興住宅地が開発されたことが読み取れる。
- ② 正しい。旧図の「鍋島」の上に、新図では「小鳴門橋」が架けられている。
- ③ 正しい。旧図中央部の干潟だった場所に、大規模な「競艇場」が建設されている。
- ④ 正しい。旧図では3本読み取れる渡し船の航路は、新図では2本に減っている。

問4 33 正解は④

地点 A に該当する文はカである。堤防に挟まれた曲行する旧河道沿いに位置し、周囲には田の地図記号がみられることから、**氾濫原の後背湿地**であるとわかる。写真サには、水路の他、蓮の大きな葉もみられる。レンコンは蓮の地下茎である。

地点 B に該当する文はキである。B は砂浜海岸に近い地点で、周辺には畑の地図記号▽がみられるので、**水はけのよい砂地**であると判断できる。該当する写真はシである。サツマイモはヒルガオ科に属するつる性の植物である。

問5 34 正解は③

航空機に該当するのはチのグラフである。明石海峡大橋の架橋による明瞭な影響はみられないが、微減傾向にある。

高速バスに該当するのはタのグラフである。架橋によって、本州との往来は主に自動車交通が利用されるようになった。なお、徳島産の農畜産物の中には、架橋をきっかけに京阪神地区への出荷を増やしたものも多く（「阿波尾鶏」のブランドで知られる鶏肉や、「鳴門金時」として知られるサツマイモなど）、トラック輸送も増大している。

船舶に該当するのはツのグラフである。利便性で上回る自動車輸送との競争に敗れる形で、架橋直後に利用者数が激減した。

問6 35 正解は②

- ② 誤り。**空中写真**からは、工業団地に進出した工場が県外企業かどうかは判読できない。
- ① 正しい。アンケート調査を実施し、標本調査をおこなうことで、全体の傾向を知ることができる。
- ③ 正しい。聞き取り調査をおこなうと、データや書物からは読み取れない最新かつ現実の状況を知ることができる。
- ④ 正しい。職業別電話帳は、職種ごとにまとめられており、住所もわかる。ほぼすべてのホテルや旅館が電話番号を掲載していると考えられるので、これを活用することで立地の傾向がわかる。